

授業科目名： 獣医臨床医科学特別演習 A (東京農工大学)		単位数 8 単位	担当教員名： 教授・准教授・講師
			担当形態： 単独
配当年次： 1～4 年次通年	授業形態： 演習科目		開講形態： 主指導教員による研究指導
授業のテーマ及び到達目標： 主指導教員が履修者の研究内容について指導を行い、期間内に博士論文が完成出来るように研究指導を行う。履修者各自の研究課題に対して、講義で培った理解、スキルを基に研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法について学ぶ。			
授業の概要： 産業動物及び伴侶動物の獣医療に関する高度な専門知識に関して、主指導教員が期間内に博士論文が完成出来るように、研究テーマに合わせて総合的に研究指導する。			
授業計画： 獣医臨床医科学講座に所属する履修者の研究内容について指導を行う。 以下のとおり、博士論文の研究テーマに直結する研究分野の研究の理論的枠組みや仮説設定、実施、データ管理、解析、考察、先行研究との比較、研究の限定性、成果発表法、学術論文作成法を指導する。このことを通じて、博士論文に通じる学生の研究テーマに直接的に関与する技術、技能を養う。 <u>①研究テーマを協議し、それに応じた研究計画の立案を指導する。</u> ②研究の実際の実施方法を指導する。 ③博士論文作成に必要なデータの管理法、解析法を指導する。 ④先行研究との比較、研究の限定性を含めた考察を指導する。 ⑤学会などでの成果発表法を指導する。 ⑥学術論文の作成を指導する。 ⑦博士論文発表会での発表に対する準備を指導する。 ⑧博士論文の作成を指導する。  (打出 毅) 呼吸循環器疾患、腫瘍性疾患、診断マーカー、治療標的分子、エンドセリン (町田 登) 不整脈、心臓腫瘍、心筋症、心筋炎、動脈硬化 (清水 美希) 運動器疾患、画像診断、疼痛管理、神経疾患、小動物 (田中 知己)			

繁殖調節、内分泌制御、繁殖障害、飼養管理、反芻家畜

(田中 綾)

医用材料、循環動態、心機能、画像診断、低侵襲手術

(西藤 公司)

皮膚バリア、細胞間接着因子、皮膚細菌感染症、スフィンゴ脂質、外毒素

(福島 隆治)

心電図記録、血圧測定、超音波検査、病態制御、伴侶動物

(井手 香織)

血液造血器系、造血幹細胞、慢性腸症、炎症性腸疾患、腸内環境

(大森 啓太郎)

免疫介在性疾患、アレルギー、慢性腸症、免疫抑制薬、分子標的治療薬

(岸本 海織)

画像診断、画像処理、エックス線、断層画像、造影剤

テキスト：特になし

参考書・参考資料等：特になし

学生に対する評価：受講状況・態度や、実験手技ならびに結果の解釈における習熟度、理解度などにより総合的に評価する。